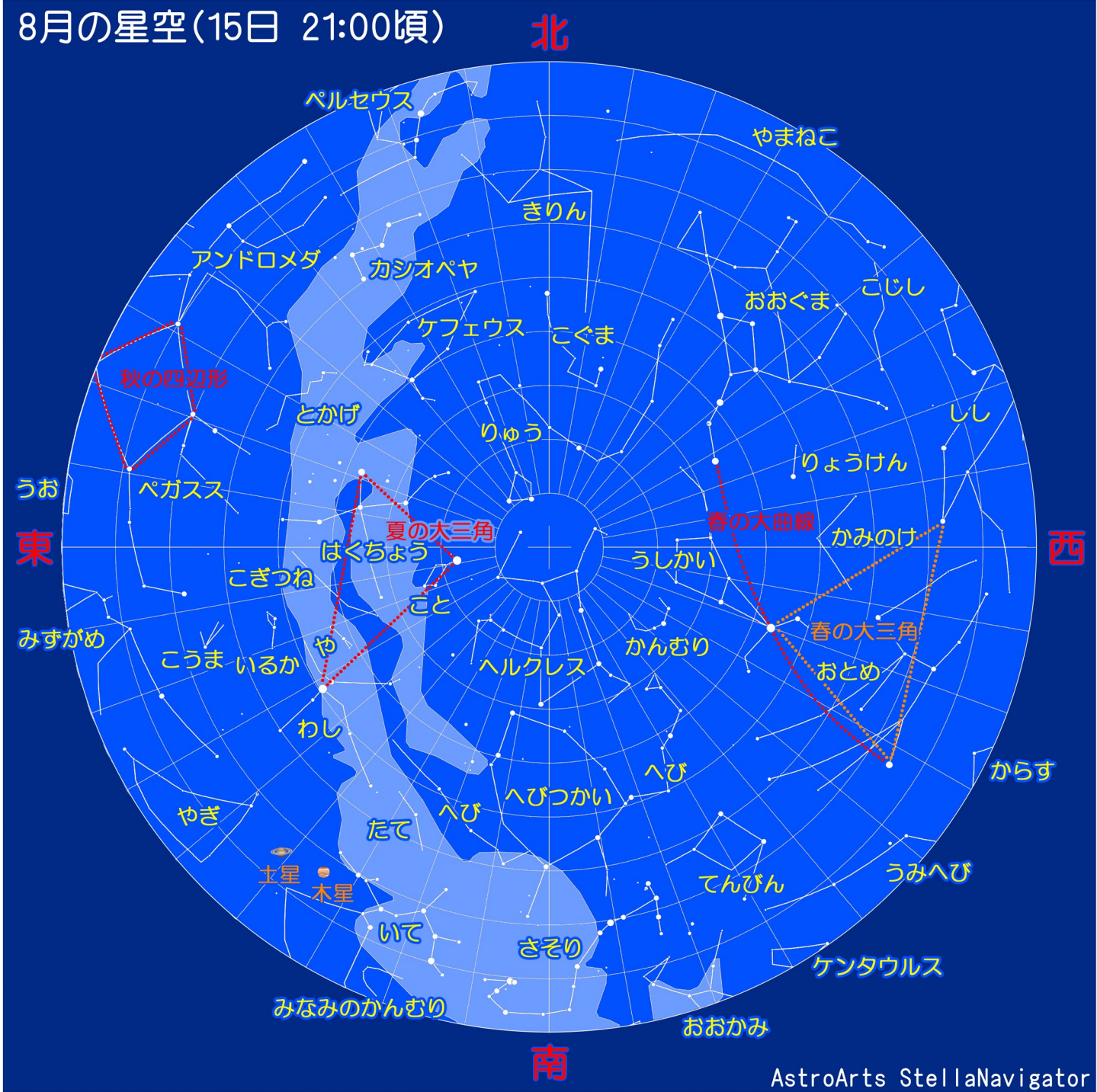


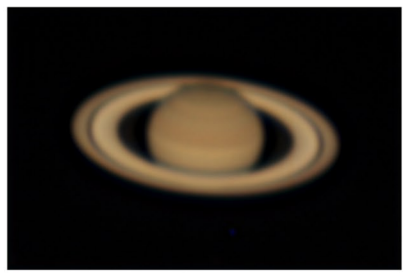
銀河の森天文台
2020年8月みどころ天体情報



今日のイチオシ！

☆土星

土星が見ごろの季節がやってきました。土星の最大の特徴であるこの見事な環は、99.9%が水の氷で出来ています。環の明るくはつきりと見える部分(メインリング)は、直径が約27万3500kmもあるのに対し、厚さは10m～1kmしかありません。また、土星には80個以上の衛星があり、その中でもエンケラドスは生命が存在する可能性がある事で注目されています。



土星

太陽からの距離：約14億3000万km

月

出 没

4日 満月 19:23 04:22

12日 下弦 22:40 12:40

19日 新月 04:04 18:52

26日 上弦 12:55 22:30

天文台から月を見ることができるのは1～5日頃と22～31日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が4個あります。

太陽からの距離：約7億8000万km

M13 (球状星団)

ヘルクス座に位置する球状星団です。北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した、見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M57 (惑星状星雲)

こと座に位置する惑星状星雲で、リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見えます。これは、恒星が一生を終えようとするときに放出したガスが光っているものです。

距離：約2600光年

M11 (散開星団)

いて座とわし座の間の天の川の濃くなっている部分にたて座にある密集度の高い散開星団です。望遠鏡では、視野いっぱいに星が散らばる様子を観察することができます。

距離：約5610光年

M71 (球状星団)

や座に位置する球状星団です。γ星とδ星の間に位置するので、比較的簡単に見つけることができます。球状星団としては密集度が低いため、かつては球状星団なのか散開星団なのか意見が分かれていました。

距離：約1万3000光年

アルビレオ (重星)

はくちょう座のくちばしの部分に位置し、黄色と青色の色の対比がとても美しい二重星です。宮沢賢治は、この星をトパーズとサファイアと表現したほどです。

距離：約434光年

ちょっとマニア

・いるか座ガンマ星 (重星)

小さくてかわいい星座として人気のある、いるか座の重星です。アルビレオほどの派手さはないですが、黄色の星と青色の星のきれいなペアです。

距離：約103光年

その他おすすめ

- ・M2 (球状星団)
- ・M15 (球状星団)
- ・M22 (球状星団)
- ・M27 (惑星状星雲)
- ・M92 (球状星団)
- ・NGC6543 (惑星状星雲)
- ・ダブルダブルスター (重星)

8・9月の銀河の森天文台カレンダー

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23 30	24 31	25	26	27	28	29	27	28	29	30			

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)

13:00～21:30
(10月～3月)

休館日